紫波町教育大綱(第2期)

令和2年2月
紫波町
(令和6年7月改訂)

1 策定の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、地域住民の意向のより一層の反映と地方公共団体における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、大綱を定めます。

2 大綱の位置付け

本町では、令和2年度から令和9年度までの8年間を対象期間とした「第三次紫波町総合計画」を策定しており、本町の教育に関する施策の根本となるものであることから、本計画の「施策」及び「施策目標」を「紫波町教育大綱」と位置付け、定めます。なお、本大綱の策定にあたっては、「教育基本法」第17条第1項に規定する国の「教育振興基本計画」を参酌しています。

3 大綱の期間

教育大綱の対象期間は、「第三次紫波町総合計画」との整合性を図るため、令和2年度から令和9年度までの8年間とします。ただし、教育をめぐる社会状況の変化等を踏まえ、必要な改定について総合教育会議で適宜検討を行うこととします。

H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
		第三次紫波町総合計画(前期)				第三次紫波町総合計画(後期)			
		「紫波町教育大綱(第2期)」							
国の教育振興基本計画(第3期)					国の教育振興基本計画(第4期)				

4 教育大綱

〈基本理念〉

郷土を愛し未来を切り拓く人づくり

- 健康につとめ、明るいまちをつくる人を育てます
- 自然を愛し、美しいまちをつくる人を育てます
- きまりを守り、安全なまちをつくる人を育てます
- 教養を高め、心ゆたかなまちをつくる人を育てます
- あたたくく交わり、住みよいまちをつくる人を育てます

〈基本施策〉

1 子どもが心豊かに育つ環境が整っている

個性の伸長と個々の学びの場を確保するため、互いに認め合い、支え合える体制と主体的・対話的で深い学びを実現する教育環境の整備に努めます。

(1) 子どもの生涯にわたるより豊かな人格形成の基礎が育まれている

- ・ 児童施設における豊かな幼児教育の推進
- ・ 幼児期の育ちについての理解促進
- ・ 幼保小連携推進

(2) 子どもの資質・能力が持続的に形成されている

- ・ 児童生徒の資質・能力の伸長
- ・ 外国語教育の充実
- ・ ICT機器を活用した授業づくりの推進
- ・ 教育研究所の運営

(3) 豊かな人間性・社会性と健やかな体が形成されている

- ・ 学級経営・生徒指導の充実
- ・ 道徳教育の充実
- ・ 学校保健管理の充実
- ・ 児童生徒の安全確保
- ・ 学校給食センターの建替え整備

(4) 誰一人取り残されない学びが保障されている

- ・ 不登校・教育支援対策
- ・ 特別支援教育の充実

(5) より良い学校教育環境が確保されている

- ・ 学校施設の維持管理
- ・ 小中一貫教育の推進
- ・ 学校と地域の連携
- ・ ICT環境の運用管理
- ・ 学校備品の充実

(6) 支援の必要な子どもが心身共に健やかに育つ環境が保障されている

- ・ 児童虐待の防止
- ・ 虐待児童・家庭への対応
- ・ 悩みを抱える保護者が相談できる環境づくり
- ・ 適切な子育て・教育への接続
- ・ 幼児ことばの教室による支援

2 安心して子育てができる環境が整っている

全ての家庭が安心して子育てができ、子どもの心豊かな育ちにつながるよう、地域社会全体で、それぞれの役割を担いながら、子育て家庭を支えるまちを目指します。

(1) 保護者は安心して子育てしながら、子育て・教育を含め自分の思い描いたことを行動して実現している

- ・ 子育てと仕事の両立の支援
- ・ 子育ての悩み解消
- ・ 子育て世帯の経済的負担の軽減
- ・ 子育て・子育て支援活動などの後方支援

3 町民が文化やスポーツに親しみ健康で活力ある暮らしができています

人と人、人と地域が繋がる機会をさらに充実し、様々な歴史・文化資源やスポーツ活動に身近に触れることで、一人ひとりが多様な選択肢を持ち、互いに尊重し合える社会をつくります。

(1) 町民それぞれが教養を高め心豊かに暮らす人が増えている

- ・ 地域課題、ニーズに応じた学習機会の提供
- ・ 安全で快適な学習施設の提供
- ・ 発表の機会の提供と芸術団体の支援

(2) 歴史や文化遺産が守られ魅力ある地域がつくられている

- ・ 文化財保護の周知・啓発
- ・ 埋蔵文化財の保護
- ・ 野村胡堂・あらえびす記念館資料の活用
- ・ 町史編さんに向けた取組

(3) 町民がスポーツに親しむ機会がある

- ・ スポーツ活動の支援
- ・ 町民のニーズに合わせたスポーツメニューの構築
- ・ 次世代スポーツ選手・指導者の育成・支援
- ・ 安全で快適なスポーツ施設の提供
- ・ スポーツツーリズムの推進

(4) 子どもが地域で生き生きした生活を送っている

- ・ 社会参加活動の推進